

NICUにおける人工呼吸器関連肺炎 (Ventilator Associated pneumonia:VAP)を減らすための取り組み

1．研究の目的

肺炎はNICUにおける感染症の約25%占めており、多くは、人工呼吸器関連肺炎です。長期の人工呼吸器管理、早産児、口腔内・咽頭に定着して細菌が人工呼吸器関連肺炎の原因と言われていています。

新生児・小児領域での人工呼吸器関連肺炎に対してのケアバンドルは統一されていません。人工呼吸器関連肺炎の予防的ケアを日常業務範囲内で変更したことで人工呼吸器関連肺炎が減少するかの研究を企画しました。

*ケアバンドルとは研究で有用性が認められた手法を束ねたバンドルを導入し、継続的に遵守することで最大限の効果を得るというものである。

2．研究の方法

研究対象：当センターNICUにて2021年3月～2023年3月に気管内挿管をしている児(生後72時間以内に死亡した児を除く)

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月

研究方法：ケアバンドル介入前後の患児の基本特性(分娩様式、在胎週数、出生体重、Apgarスコアなど)について記述統計を用いて記載する。

3．研究に用いる情報の種類

カルテより在胎週数、修正週数、Apgarスコア、母体子宮内感染の有無、出生方法、性別、挿管日数、NICU入院期間、死亡の有無、在宅酸素の使用、人工呼吸器関連肺炎発症の患児については発生日、起因菌等の情報を収集します。得られたデータについては、本研究以外で使用しないこと、研究結果は学会や研究論文として発表する可能性があります。個人情報の黙秘を保障します。データの管理は当院のパソコンにのみ保存し、パスワードロックをかけ、研究終了後5年は保存し、その後は破棄します。氏名など、本人を特定できる一切の個人情報は調査対象ではないため、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 4階 NICU 船津 秋実

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3402）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 4階 NICU 船津 秋実